



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,360	△8.9	263	△48.8	277	△46.6	77	△78.6
2020年3月期第3四半期	6,983	△3.2	514	2.1	519	2.0	362	4.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 107百万円(△71.7%) 2020年3月期第3四半期 378百万円(26.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	52.30	—
2020年3月期第3四半期	244.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,012	5,044	63.0
2020年3月期	8,679	5,109	58.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,044百万円 2020年3月期 5,109百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	△6.6	470	△42.4	470	△43.0	239	△54.8	161.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	1,480,000株	2020年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	365株	2020年3月期	365株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	1,479,635株	2020年3月期3Q	1,479,713株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受けて、依然として厳しい状況が続いています。また、感染拡大の防止策を講じつつ、段階的に社会経済の活動レベルを引き上げていくなかで、一部持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染の拡大に伴う緊急事態宣言の再発令もあり、先行きについては不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、そのような環境の中でも、情報化投資として AI、IoT および新型コロナ対応のためのデジタル技術などのICT（情報通信技術）の利活用が継続する一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による情報化投資の抑制・延期などの影響もみられます。

このような状況のもと、当社グループは顧客・社員の安全衛生の確保を優先するため、テレワークや時差出勤、リモートによる商談などを推進し、一定の営業活動を維持してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、ソフトウェア開発のセグメントで増加しましたが、機器等販売、システム販売、システム運用・管理等のセグメントで減少したことにより、6,360百万円（前年同期比8.9%減）となりました。損益につきましては売上高の減少等により、営業利益263百万円（同48.8%減）、経常利益277百万円（同46.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益77百万円（同78.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### ①機器等販売

売上高は前年度旺盛だった機器更新需要の反動とコロナ禍における受注の減少により、1,291百万円（前年同期比29.9%減）となりました。セグメント損益は売上高の減少により、39百万円の利益（同70.5%減）となりました。

#### ②ソフトウェア開発

売上高はコロナ禍における受注の減少や開発案件の中断がありましたが、前年度から継続していた開発案件の計上や文教案件等もあり、1,101百万円（前年同期比2.5%増）となりました。セグメント損益は売上高の増加や生産性が向上したこと等により、204百万円の利益（同17.6%増）となりました。

#### ③システム販売

売上高は前年度から継続していたインフラサービス並びに医療は増加しましたが、コロナ禍において画像処理システムや生コン関連並びに新規顧客向けの医療は、受注の減少やプロジェクトの延期で、1,605百万円（前年同期比3.2%減）となりました。セグメント損益は売上高の減少により、102百万円の利益（同31.4%減）となりました。

#### ④システム運用・管理等

売上高は子会社で前年度上期まで続いた大型のデータセンタ業務が契約満了となり、新たな顧客の獲得を目指しておりましたが、コロナ禍で獲得には至らず、2,361百万円（前年同期比1.9%減）となりました。セグメント損益は売上高の減少により、701百万円の利益（同11.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.6%減少し、4,966百万円となりました。これは、主に仕掛品が959百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,446百万円、現金及び預金が260百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、3,045百万円となりました。これは、主に建物及び構築物が34百万円並びに有形固定資産その他に含まれている建設仮勘定が30百万円減少したものの、投資その他の資産その他に含まれている繰延税金資産が60百万円並びに投資その他の資産その他に含まれている投資有価証券が32百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%減少し、8,012百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.9%減少し、2,382百万円となりました。これは、主に短期借入金が増加したものの、賞与引当金が227百万円、未払法人税等が161百万円、買掛金が115百万円、その他に含まれている未払金が143百万円、その他に含まれている未払消費税等が78百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.4%減少し、586百万円となりました。これは、主に固定負債その他に含まれているリース債務が40百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて16.8%減少し、2,968百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、5,044百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益を77百万円計上したものの、株主配当金の支払が177百万円あったことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2021年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高10,100百万円、営業利益470百万円、経常利益470百万円、親会社株主に帰属する当期純利益239百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,901,805	1,640,832
受取手形及び売掛金	2,756,343	1,310,295
リース投資資産	449,507	478,594
商品及び製品	66,452	55,401
仕掛品	356,809	1,315,839
原材料及び貯蔵品	39,951	34,054
その他	115,448	133,417
貸倒引当金	△2,643	△1,452
流動資産合計	5,683,675	4,966,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	776,812	742,070
土地	531,977	531,977
その他（純額）	604,136	579,458
有形固定資産合計	1,912,927	1,853,506
無形固定資産	432,353	420,439
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	235,605	241,366
その他	422,469	535,273
貸倒引当金	△7,926	△5,124
投資その他の資産合計	650,148	771,515
固定資産合計	2,995,429	3,045,461
資産合計	8,679,104	8,012,444
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,072,370	956,574
短期借入金	-	150,000
未払費用	322,022	287,556
未払法人税等	161,864	-
賞与引当金	441,683	213,765
受注損失引当金	360	1,128
アフターコスト引当金	35,846	37,048
その他	902,500	736,235
流動負債合計	2,936,648	2,382,308
固定負債		
退職給付に係る負債	20,490	19,287
その他	612,282	566,809
固定負債合計	632,772	586,097
負債合計	3,569,420	2,968,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	4,013,335	3,917,951
自己株式	△737	△737
株主資本合計	5,030,419	4,935,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,888	127,826
退職給付に係る調整累計額	△25,625	△18,823
その他の包括利益累計額合計	79,263	109,003
純資産合計	5,109,683	5,044,038
負債純資産合計	8,679,104	8,012,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	6,983,922	6,360,385
売上原価	5,195,045	4,808,134
売上総利益	1,788,877	1,552,251
販売費及び一般管理費	1,274,377	1,288,696
営業利益	514,499	263,554
営業外収益		
受取利息	13	16
受取配当金	4,591	4,478
受取手数料	1,417	1,373
受取保険料	563	6,000
補助金収入	3,092	5,558
その他	1,536	1,472
営業外収益合計	11,214	18,899
営業外費用		
支払利息	1,802	2,184
売上割引	2,958	1,565
支払手数料	850	603
その他	240	288
営業外費用合計	5,851	4,641
経常利益	519,862	277,812
特別利益		
投資有価証券売却益	432	-
特別利益合計	432	-
特別損失		
固定資産除却損	53	2,870
支払補償金	-	145,000
特別損失合計	53	147,870
税金等調整前四半期純利益	520,241	129,942
法人税等	158,088	52,556
四半期純利益	362,153	77,385
親会社株主に帰属する四半期純利益	362,153	77,385

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	362,153	77,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,232	22,937
退職給付に係る調整額	6,971	6,802
その他の包括利益合計	16,203	29,739
四半期包括利益	378,356	107,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378,356	107,124
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月13日 取締役会	普通株式	162,768	110	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月25日 取締役会	普通株式	177,556	120	2020年3月31日	2020年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,843,065	1,074,498	1,658,443	2,407,914	6,983,922	—	6,983,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	219	1,208	10,487	39,392	51,307	△51,307	—
計	1,843,284	1,075,707	1,668,930	2,447,307	7,035,229	△51,307	6,983,922
セグメント利益	132,408	173,834	149,457	790,720	1,246,421	△731,922	514,499

(注) 1 セグメント利益の調整額△731,922千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,291,809	1,101,591	1,605,488	2,361,495	6,360,385	—	6,360,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	506	3,131	15,691	7,945	27,274	△27,274	—
計	1,292,316	1,104,723	1,621,180	2,369,440	6,387,659	△27,274	6,360,385
セグメント利益	39,042	204,476	102,526	701,673	1,047,719	△781,165	263,554

(注) 1 セグメント利益の調整額△781,165千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。